



世界が注目するアルスエレクトロニカと千葉県松戸市が共同キュレーション
グランプリ受賞作品など、最先端のテクノロジーやアート作品を、国指定重要文化財に展示

科学、芸術、自然をつなぐ国際フェスティバル 科学と芸術の丘2021 OPEN CITY－触発する街－

創造性豊かな“クリエイティブ・シティまつど”を目指し、最先端の科学・芸術が融合した国内でも数少ないフェスティバルを、リアルな会場とオンラインで開催します。

徳川慶喜の弟・徳川昭武は、パリに留学しヨーロッパ各国を歴訪。松戸の街を見渡す丘の上に戸定邸を建てた昭武は、当時最先端の庭園を造り、常に新しい文化や技術を暮らしに取り入れたグローバルな先駆者の一人でした。



世界的な文化機関・アルスエレクトロニカとともに松戸市が開催する科学と芸術の丘では、徳川昭武の革新の歴史が残る戸定が丘を舞台に、世界で活躍する研究機関や研究者、アーティストたちによる最先端のテクノロジーやアートを披露して、新たな未来の可能性を提案します。

2021年のテーマは、「OPEN CITY－触発する街－」。メイン会場となる戸定邸(国の重要文化財)・松雲亭・戸定が丘歴史公園では、特別展覧会やトーク、ワークショップを開催。松戸の街なかでは、まちあるきプログラムや同時開催イベント、街のお店の特別企画などが登場します。

市民一人ひとりが持つクリエイティブな発想力と変革の力。人々のつながりが背中を押し、誰もがチャレンジできる創造的な街・松戸の未来へとつなぐフェスティバルです。

開催日時／2021年

10月16日(土)10時から16時30分、17日(日)10時から16時00分
(戸定邸の入館受付は9時30分～16時30分)

会場／戸定邸(国指定重要文化財)・松雲亭・戸定が丘歴史公園、
松戸駅周辺および松戸市内の商業施設・店舗など

費用／入場無料、戸定邸入館料一般250円、高校・大学生100円(中学生以下無料)

お問い合わせ／松戸市文化観光国際課 ☎047-366-7327

※開催当日のみ、☎070-2269-2628

主催／松戸市(文化観光国際課) 令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

■ 科学と芸術の丘公式WEBサイト／

※新型コロナウイルス感染症予防対策を実施して開催します。※感染拡大防止の観点から、戸定邸は入館制限を行うため、外でお待ちいただく場合があります。※ご来場の際は、マスクの着用の徹底をお願いします。※受付にて消毒・体調チェックシートの記入にご協力ください。※換気のため、常時ドアや窓を開放します。(荒天時は一部開放)



科学と芸術の丘
公式ホームページ

【本件に関する問い合わせ】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市経済振興部文化観光国際課 ☎047-366-7327 FAX047-711-6387

✉ mckankou@city.matsudo.chiba.jp



【記者の皆さま向け】 展示作品を、いち早くご覧いただけます。

2021年10月15日(金)13時30分～

記者・メディア限定「〈作品披露〉特別先行内覧ツアー」を開催！
〈出展する研究者・アーティスト3名への個別取材が可能〉

開催前日となる10月15日(金)13時30分より、記者の皆さまと各種メディアの皆さまに向けた「〈作品披露〉特別先行内覧ツアー」を開催します。今回展示される作品をいち早く、科学と芸術の丘スタッフによる解説付きでご案内いたします。さらに当日は、3名の研究者・アーティストが来場、個別取材も可能です。ぜひご取材ください！

●開催日時／2021年10月15日(金) 13時30分から

●会場／戸定邸

●取材可能な研究者・アーティスト(3名)／

木原共(きはらとも)、東京大学生産技術研究所・松永行子(まつながゆきこ)、AKI INOMATA

※戸定邸の入館制限に伴い、外でお待ちいただく場合があります。

科学と芸術の丘2021のテーマ

「OPEN CITY－触発する街－」について

急速にデジタル化する世界と新型コロナウイルスのパンデミック－世界中で常識とされていたものが日々、変化しています。期待と不安が高まる今、新たな社会とは、そして私たち一人ひとりにできることはなにか。

イノベーションは、最先端のテクノロジーだけが生み出すものではありません。人と人のつながり、コミュニティ、育まれる文化、そうした手触りのあるあたたかさや自然との調和のなかにこそ、次のイノベーションを起こすクリエイティブなエネルギーが眠っています。

科学と芸術の丘は今年で4年目を迎えます。松戸市におけるクリエイティブなコミュニティから始まったこのフェスティバルも、1年目に撒いた種が、2年目に芽を出し、3年目には庭へと発展、街へと広がりつつあります。

徳川昭武による当時最先端の造園技術で作られた戸定の庭園。そこから始まった革新のバトンは、街に広がる現代のクリエイターへと受け継がれています。

今回の「OPEN CITY－触発する街－」では、オープン・スタジオ、オープン・キャンパス、オープン・ラボを越えたオープンな街として、世界中のボトムアップな活動から生まれたイノベーションや、市民一人ひとりが持つ変革の力、そして自然や地球全体について考える作品やプログラムを紹介します。

市民が自分たちの手で生み出すイノベーション。

人々のつながりが挑戦する人の背中を押し、共に支え合う生態系＝街を目指します。

〈これまでのテーマ〉

2018	Space of Imagination(自然・地球・宇宙)
2019	Citizens of the Future(未来の市民)
2020	Garden of Creativity(はじまりの庭)
2021	Open City(触発する街)



レミックス エル パリオ フード ウェイスト バイオマテリアル デザイン

Remix El Barrio, Food Waste Biomaterials Design

〈STARTS PRIZE' 21 グランプリ〉

Fab Lab Barcelona at IAAC, The Remixers [スペイン]

STARTS PRIZE' 21グランプリ作品が、松戸に初上陸！取り除かれたオリーブの種から作ったタイル、コーヒーの殻で作った紙やパッケージ、使用済みオイルで作った石鹸、フルーツの皮を使って3Dプリンターで作成したお皿、オレンジの皮などで作ったTシャツなど、サステナビリティ(持続可能性)をテーマに、食品廃棄物から新たに生み出した工芸品を展示します。

〈写真/Fab Lab Barcelona〉



グーグル マップス ハックス

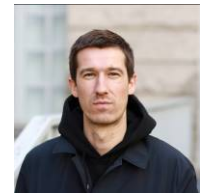
Google Maps Hacks

〈文化庁メディア芸術祭2021 アート部門ソーシャルインパクト賞〉

Simon Weckert [ドイツ]

99個の中古スマートフォンを小さなカートに載せて運ぶと、Googleマップ上に架空の交通渋滞(表示される道路の色を赤(混雑)に変える)が作り出され、表示を見た自動車が渋滞を避けるため、結果的に通行量が減少するという現象を生み出します。企業に対抗するような個人の変革の力を、遊び心のある形で表現しています。作品の一部と、表現された地図やメイキング映像を展示します。

〈写真/Simon Weckert〉



フューチャー コライダー

Future Collider

木原共(きはらとも) [日本・オランダ]

新型コロナウイルスの流行前は、ソーシャルディスタンスを促す標識が街中にある未来を想像できませんでした。いつの時代も、看板や屋外広告は人々の欲望を捉え、標識は社会の制約やルールを示しています。このプロジェクトは看板や標識を起点に都市の未来を共同で思索する市民参加型。近い未来に存在するかもしれない標識や看板を、木原さんと一緒に考えます。17日には、みんなのアイデアをAR(拡張現実)を使って松戸の街に取り付けるワークを実施予定です。

〈写真/TOMO KIHARA〉





やさシティ、まつど。
matsudo

けっかんのねいろ アチューン

血管の音色 Attune

東京大学生産技術研究所・松永行子(まつながゆきこ)研究室
[日本]

私たちの指先の毛細血管の形は、健康状態を表し、睡眠や運動・食事などによって形が変化することがわかってきました。この作品は、顕微鏡に指を置くだけで、指先の毛細血管画像を元にユニークな音楽を作成し、体の状態変化や体調を直感的な音で管理するという新しいシステムです。自分の血管の音を聴くという貴重な体験ができます。

※体験人数を制限する場合があります。

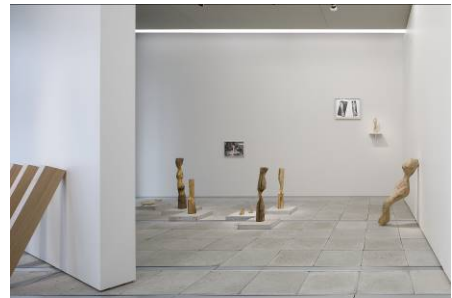


ちょうこくのつくりかた

彫刻のつくりかた <CAFAA賞ファイナリスト>

AKI INOMATA [日本]

「作品を作っているのは誰？ビーバー？虫？それとも作者？」。一見、木彫りのような作品は、INOMATA氏がビーバーに木を渡し、かじった形を木彫作家が3倍の大きさで復刻したもの。今回、初めて発表展示する「虫食いの欄間」は、虫が開けた穴＝虫食いが、虫たちが作ったアートのようにだと着目し、作品に進化しました。動物たちがつくるものを人間が模倣することで、新しい発見があります。作品を見ながら、生き物との関わりについて考えてみてください。



創造性を高める、Keynote Lecture(基調講演)、Talk(トーク) 戸定邸からライブ配信・オンライン視聴

メディア・アートがいろん

メディア・アート概論 (要事前予約)

アルス エレクトロニカ フューチャーラボ
久納鏡子(くのきょうこ)(Ars Electronica Futurelab
アーティスト兼キー・リサーチャー)[オーストリア]

メディア・アートと聞くと、テクノロジーやデジタルを使った先端的なアートと思う人が多いですが、製品やサービスなど私たちの日常生活に近いところにあるものかもしれません。世界が注目するメディア・アートの文化機関「アルスエレクトロニカ」の久納氏が、未来のビジョンやイノベーションへとつながるアーティストの思考と実践を紹介します。

日時10月17日(日)13時~13時45分 ※事前予約者のみに視聴URLを送付。

<写真/vog_photo>





やさシティ、まつど。
matsudo

しよくはつをうながすテクノロジーとアート

触発を促すテクノロジーとアート

齋藤直宏(東京国際工科専門職大学・教授) &
アルス エレクトロニカ フューチャーラボ
久納鏡子(Ars Electronica Futurelabアーティスト兼キー・リサーチャー)



新しいアイデアや発想から生まれ、未来を変えていく力を持っているテクノロジーとアート。考え方や捉え方などの違い、発想の生み出し方のポイント、そして、未来を変える原動力を作り出すために大切にしたいことを話し合います。

日時10月17日(日)14時~14時45分

※特別展覧会に参加する研究者やアーティストによるオンライン配信トークを多数開催します。
最新情報は公式WEBサイトへ。

創造性を体験する、Workshop(ワークショップ) (要事前予約)

会場:松雲亭 または 戸定が丘歴史公園

※参加申込は10/1から。先着順。詳しくは科学と芸術の丘公式WEBサイトへ。

みらいのそざいをかいはつ・じっけん「フューチャー マターズ」

未来の素材を開発・実験「Future Matters」

蒔野真彩(まきのまあや)(Ars Electronica Futurelab リサーチャー)

身近な素材を使って、新しいものを開発してみることにチャレンジ!子どもたちが考え、豊かな発想を生み出すアートワークショップです。オーストリアとオンラインでつないで、「未来の素材と社会」について考えながら、楽しく創造的な実験を行います。ワークショップスタート時には、昨年末来の教育について対談した、アルスエレクトロニカフューチャーラボの小川絵美子氏と松戸市教育長が、未来の教育について語ります。



日時10月16日(土)14時45分~16時30分 会場松雲亭

定員先着10人 対象小学5年生~中学生 ※PC・タブレット・スマートフォンを持参すると、講師との対話がしやすくなります。

〈写真/Emiko Ogawa〉

スマホでまなべるプログラミング「イーゼル」

スマホで学べるプログラミング「easel」



田所淳(たどころあつし)(クリエイティブ・コーダー兼前橋工科大学准教授)

アートや創造性の要素を取り入れた教育用ソフト「easel」で、自分のスマートフォンを使って、視覚的なイメージやアニメーションなどを作ります。子どもから高齢な方まで、初心者でも楽しくプログラミングを学べます。

日時10月17日(日)10時30分~12時、14時~15時30分 会場松雲亭 定員各先着10人 持ち物スマートフォン





昆虫や自然を観察してお絵描き「科学と芸術の丘探検隊」

千葉大学園芸学部 応用昆虫学 野村昌史(のむらまさし)研究室

昆虫を専門に研究する野村先生や大学生の皆さんと一緒に、自然いっぱいの戸定が丘歴史公園を探検！先生や学生の皆さんの解説を聞きながら、公園にいる昆虫や植物を観察して楽しく描いてメモします。

日時10月16日(土)・17日(日)の各10時～11時、13時～14時
会場戸定が丘歴史公園 定員各先着20人 持ち物メモ帳やノート、筆記用具



※「科学と芸術の丘2021」では、東京国際工科専門職大学の実習授業に協力しています。学生たちが、会場内で参加者インタビュー・撮影・作品披露等を行うことがあります。ご協力をお願いします。

“触発する” まちあるきプログラムや、街のお店とのコラボ開催！

■ “まちの記憶”を片手に、街の変化を楽しむ まちあるきプログラム「まつどまちがたり」

かつての街の風景を映した古写真や地図など、“まちの記憶”を記した冊子を片手に、街の変化を楽しみながら、松戸駅周辺を歩いてめぐるプログラムです。受付後のガイダンス時に、ミニパフォーマンスあり。

日時10月16日(土)10時30分～15時30分・17日(日) 10時30分～15

時、おおよそ30分に1回程度受付(ガイダンス5～10分、自由散策30分～) 会場戸定が丘歴史公園(受付、ガイダンス)、松戸駅周辺を自由散策 定員各5人程度 特典参加者に“まちの記憶”を記した冊子をプレゼント



■ 限定メニューや特別企画が登場！ 街のお店のコラボレーション

美味しいコーヒーやスイーツ、選び抜いた商品など、街のお店にはクリエイティブな発想力があふれています。「科学と芸術の丘」を一緒に盛り上げてくれる松戸市内のお店たちが、限定のオリジナルメニューや特別企画をご用意！お店や商品などに貼られた六角形のカタリストマークが目印です。お店めぐりを楽しんで！

日時10月16日(土)・17日(日) 会場松戸駅周辺ほか松戸市内の各店舗、戸定売店(戸定が丘歴史公園駐車場内) ※営業時間やメニューは店舗により異なります。



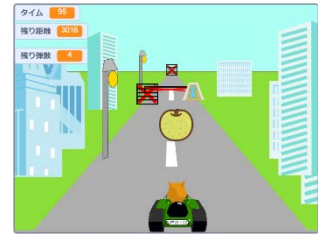


クリエイティブなイベントを同時開催！

■ MATSUDO KIDS プログラミングコンテスト 2021「受賞作品体験展示会」

市内の小中学生が作ったゲームやアプリのコンテスト受賞作品10点を展示します。オリジナリティにあふれた楽しい作品を、ぜひパソコンで体験してみてください。(写真は、2020まつどシティ賞の作品)

日時10月16日(土)10時～16時30分・17日(日)10時～16時 会場プラーレ松戸6階
※16日(土)13時～14時30分は表彰式開催のため体験できません。



■ 傘にペイント体験！「アートアンブレラ」 (JOBANアートライン協議会)

JR東日本の忘れ物傘にアートペイントを楽しむワークショップを開催。どなたでも参加体験可能！東京藝術大学の学生さんの作品も展示します。

日時10月17日(日)10時～15時(最終受付14時30分) 会場プラーレ松戸屋上



■ アーティストと出会おう！

芸術家滞在施設「PARADISE AIR」

国内外からアーティストがやって来て、滞在制作を行っているPARADISE AIR。アーティストが滞在しながら作品制作をする拠点を公開します。

日時10月16日(土)・17日(日) 会場PARADISE AIR(松戸駅徒歩5分、状況によりオンラインに変更)



PARADISE AIR